

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアについては職員で意識している。地域の方々にも利用者が外に出られたときに声をかけてもらったり理解してもらえる環境になりつつあるが、利用者の安全面の心配する声もある。	地域の方にグループホームの入居者がどのように過ごしておられるかを知ってもらう。また、認知症への理解を推進する。	まちづくりセンターや自施設で、地域の方へ向けた勉強会を開催したり、交流のできる場を作る。また、地域で介護をしている方同士が交流できる機会を設ける。	12ヶ月
2	19	利用者がどのように生活しているか、いきいきとした表情など伝わりにくい。遠方の方には特に伝わりにくい状況である。	家族に本人の様子がわかりやすく伝える。	毎月送付するお便りに、日常面・体調面のことを分けてわかりやすく書いて伝える。面会時に家族が本人や職員と話ができるようにする。カンファレンス等で家族に状況を伝えたり、本人の日常の思いを代弁し、その思いについて一緒に考える。	12ヶ月
3			家族が離れていても本人の感じていることや表情がわかり、どのように生活しておられるか、本人が満足しているかなどを家族が理解できるようになる。	日常の様子を写真に収め、上映会を行う。(家族会等) おたよりで送付しきれない年間の本人の日常の写真を送付する。本人と家族が一緒にゆっくり過ごせる日を設ける。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。